

みなさん、あけましておめでとうございます。…と新年のご挨拶をしたものの、気付けば1月が終わろうとしています。1月はいく、2月はにげる、3月はさる、と言われるようにこの時期は本当にあっという間に過ぎてしまいます。私たちは1日も無駄にすることのないよう、気を引き締めていきます！

2015年も引き続きすずくりをどうぞよろしくお願ひいたします。

- 矯正治療って必要? -

日本ではまだ「矯正治療＝見た目をキレイにするだけの贅沢品」という偏見を持つ人がいらっしゃるようです。「これくらいの感じで並んでれば十分じゃない?」と『正しい歯並び』についてきちんと理解されず、悪い歯並びのまま放置されているケースが多く見られます。アメリカでは、小さいうちから子どもの歯並びや咬み合わせを観察し、必要であれば矯正治療を受けさせてあげることが親としての責任と考える人が多いそうです。それは、歯並びが心身の健康に影響を及ぼすことを知っているからでしょう。

では悪い歯並びが及ぼす「心身の健康への影響」とはどういったことが考えられるのでしょうか?

- ・歯みがきがしにくく、虫歯や歯周病になりやすい
 - ・食べ物をよくかみ砕けず、胃腸などの消化器官に負担がかかる
 - ・上下のあごの発育や、顔の成長に影響して不調和をもたらす
 - ・上あごと下あごをつなぐ顎関節に負担がかかり、顎関節症になりやすい
 - ・咀嚼筋の発達が遅れたり、正しい発音がしにくくなることもある
 - ・歯並びを気にしてうまく笑えない、口元を手で隠す癖がつくことがある
- などが挙げられます。

本来の矯正治療は、単に歯をキレイに並べることが目的ではありません。歯や顎の位置を理想的な位置に誘導することで、歯の接触面を増やして咀嚼能力を高める、お口のまわりや顎の筋肉の活動を正常化して成長を健やかに促す・顎関節への負担を軽減する…など、口腔機能の回復が目的です。これらの実現によって、同時に見た目の美しさも得ることができ、心理面にも良い影響をもたらすのです。

ご自分やお子様の歯並びについて気になる方は、治療やメンテナンスの際にお気軽にお尋ね下さい。歯並びに問題があるかどうかチェックします。その際に矯正治療が必要、または矯正担当医の専門的な診断が必要と判断した場合には、矯正相談（相談料2,000円/税別）をお勧めしています。

矯正治療についてお知らせ

今年から矯正治療日は月2回、土曜日になります。担当医は以下の2名で、月1回ずつの診療となります。

◎河野信也医師

(広島大学歯学部卒・日本矯正歯科学会認定医)

◎白倉麻耶医師

(広島大学歯学部卒・日本矯正歯科学会認定医)

現在矯正治療中の患者様の中には、診療日の都合上、担当医が代わる場合があると思いますが、両医師の治療方針は同じですので担当医が代わっても大丈夫です。ご安心ください。

これから矯正をお考えの患者様は、ご相談をお受けいたします。受付にて矯正治療日のご予約をお申し付けください。(相談料2,000円/税別)

おうちで出来る歯並びチェック

☆まずは、唇を閉じて、鏡を見てみましょう。

- ①唇を閉じて、歯が見える
- ②下唇のほうが上唇より出ている
- ③顔の輪郭が左右均等でなく、片側の頬が膨らんでいる

☆次に、「い」の発音をして、歯の状態を見てみましょう。

- ④上下の歯の中心点がずれている
- ⑤上下の歯がかみ合わず、すき間ができる
- ⑥隣どうしの歯が重なり合っている
- ⑦かみ合わせが上下さかさまになっている
- ⑧ほとんど上の歯しか見えない

☆さらに、ペンや箸を鼻の頭とあごの先がつながるように当ててみましょう。

- ⑨ペンや箸があごにつかず、唇が強く圧迫される
- ⑩ペンや箸が全く唇につかない

どれかひとつでもあてはまる項目がある場合、歯並びが乱れている可能性があります。